

音更町文化奨励賞等表彰

2個人と2団体が受賞

令和4年度音更町文化奨励賞の表彰式が、11月3日に十勝川温泉ホテル大平原で行われました。

この表彰は、教育委員会が、科学や芸術、教育などを通して文化の発展や普及振興に顕著な功績のあった個人と団体を対象に毎年行っています。

今年度の文化奨励賞は2個人2団体が受賞されました。受賞された人たちとその功績を紹介します。



文化奨励賞（個人の部）



こにし ひろのり
小西 浩紀さん
(木野西通)

昭和59年の混声合唱団ヴォイス・ブーケに創立時から所属し、町内のイベントに出演して地域活動に貢献されました。

また、平成11年から団長を務め、会の運営に尽力されるところにも、帯広合唱連盟理事に就任し、道民芸術祭、十勝管内芸術祭において中心的な役割を担い、合唱文化の普及に大きく貢献されました。

さらに、平成30年からは音更町文化事業協合理事長を務め、音更町の文化の発展に大

きく貢献されました。

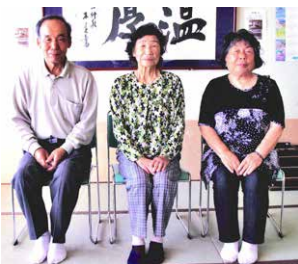


みなみで ひでお
南出 英夫さん
(宝来)

昭和58年の宝来歌謡同好会創立時から入会し、昭和60年から会計、平成2年から副会長、平成9年から現在まで会長を務め、後進の育成に尽力されました。

また、音更芸能まつりや宝来地区文化祭での発表やボランティア活動に積極的に参加し、地域活動に貢献されました。

文化奨励賞（団体の部）



おとふけようせいかい
音更謡声会
やまもと じゅんいち
(代表：山本 純一さん)

昭和45年に会を発足し、継続的な活動を通し、民謡技術

の向上に努めるとともに、民謡発表大会や町外の団体を含めた民謡交流会に参加しています。

また、20年以上にわたり高齢者施設を訪問し民謡を披露するボランティア活動に尽力され、地域文化活動の推進に大きく貢献されました。



おとふけりゅうほうかい
音更竜鳳会
うの さとこ
(代表：宇野 里子さん)

昭和51年に会を発足し、吟技の研鑽に努め会員の技量向上を図るとともに、詩吟の普及に貢献されました。

また、音更吟剣詩舞道大会、音更芸術祭および北十勝吟道大会など多くの行事に参加し、地域活動に貢献されました。



催し物で生涯学習の理解深める

おとふけ生涯学習フェス2022

10月10日(祝)、「おとふけ生涯学習フェス2022」が文化センターと図書館で開催されました。

この催しは、町内で生涯学習に取り組んでいる個人や団体・関係機関の皆さんが一堂に会して交流を深め、生涯学習とまちづくりについて考える場として開かれているもので、新型コロナウイルス感染症の影響から、3年ぶりの開催となりました。

午前は、帯広大谷短期大学によるアカデミー賞受賞作品「コーダあいのうた」の映画会、午後からは、音更ライオンズクラブによる音楽会に、レインボーコーラス、音更町伊福部昭記念ジュニアオーケストラ、音更ジュニアブラスバンド、下音更中学校吹奏楽部、音更高校管弦楽局が出演しました。

同じく午後開催された音更町文化協会による文化講演会では、恋愛・生き方カウンセラー羽林由鶴さんによる「ここからの健康ケア」と題し

た講演がありました。

このほかにも生け花、絵手紙、織物・手芸の展示・体験、鉢花、食品、衣類、日用品などの販売、軽食喫茶の各コーナーが設けられ、屋外ではキッチンカーも出店するなど、各コーナーともにぎわいを見せていました。

図書館では、古本市や絵本の読み聞かせ会(劇団ほうき座・蒼い風の会・英語絵本読み聞かせの会)が開催されたほか、音更の昔を撮ったスライドの映写会がありました。当日は、雨天にもかかわらず多くの人が来場し、いろいろな催し物を通じ、生涯にわたり学び続けることの必要性について理解を深めていました。



▲音楽会に出演したレインボーコーラスの皆さん

自然の偉大さ体感 登山体験教室

10月1日(土)、生涯学習講座

「登山体験教室」が開催され、10歳から83歳までの参加者23人は、白雲山(1186m)登山に挑戦しました。土幌高原ヌプカの里登山口から入山し、真夏を思わせる暑さの中、着実に歩みを進め、3時間かけ全員、無事に頂上に立ちました。思い思いの場所で昼食を取った後は、遠くの景色を樹林から垣間見ながら然別湖畔側の登山口に下山しました。参加者からは「自然の偉大さを体感しました」との声が



▲東大雪を背景に記念撮影

聞かれました。

歴史の重み実感 町内史跡めぐりツアー

10月22日(土)、町内史跡めぐりツアーが開催され、参加した18人は、旧国鉄土幌線駒場音更の駅跡、武儀、江波および矢部の団体入植地を見て回



▲矢部開拓百年記念碑で説明に聞き入る参加者

りました。講師の音更郷土史研究会の照井さん、町の学芸員から分かりやすい説明を受け、各々に歴史の重みを改めて感じていました。土幌線で通学していた参加者は「汽車通学の頃の青春時代が懐かしく思い出された」と感想を述べていました。

スポーツ賞等推薦受け付け

教育委員会は、スポーツの分野で活躍した人や、スポーツの振興に貢献した人に贈るスポーツ賞、スポーツ奨励賞、スポーツ功労賞の候補者の推薦を受け付けます。

▷対象

- ・町内に在住する個人または保護者が町内に在住する学生
- ・町スポーツ協会に所属または町内を活動拠点とする団体

▷表彰基準

- ・**スポーツ賞** 全国・全道規模の競技団体や学校体育団体が主催する大会で、全国3位以上または全道優勝した小学4年生以上の個人・団体
- ・**スポーツ奨励賞** 全国・全道規模の競技団体や学校体育団体が主催する大会で、全国6位以上、全道3位以上または管内大会で優勝した高校生以上の個人・団体
- ・**スポーツ功労賞** 本町のスポーツの振興・普及に貢献のあった個人・団体

※小・中学生は推薦の対象外です。

▷申込期限 令和5年1月20日(金)

※上記以降の大会は令和5年2月3日(金)まで

申込・問合せ 教育委員会スポーツ課(内線792~794)、FAX42-6288